

## 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 (芸術未来研究場 共同研究企画公募事業)

# 募集要項 B

※この募集枠は、2025年4月1日時点における本学の卒業生・修了生(40歳以下)を対象としたものです。その他の枠は下表をご参照ください。

### 「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 募集枠一覧

| 企画募集を行う領域・テーマ |                                           | 申請資格・対象(※)                      |
|---------------|-------------------------------------------|---------------------------------|
| 要項 A          | [1]アート DX                                 | 在学生<br>在籍教員／研究者                 |
|               | [2]ケア&コミュニケーション                           | 在学生<br>在籍教員／研究者                 |
| 要項 B<br>(本紙)  | [3]キュレーション<br>(みずほフィナンシャルグループとの連携枠)       | 卒業・修了生<br>(40歳以下)               |
| 要項 C          | [4]TOKYO WELL CITY<br>(三菱地所との連携枠)         | 在学生、卒業・修了生<br>在籍教員／研究者          |
|               | [5]アート×エンターテインメント／AI<br>(サイバーエージェントとの連携枠) | 在学生<br>2020年3月以降の卒業・修了生         |
| 要項 E          | [6]マイノリティの活躍促進<br>(ゴールドマン・サックス証券との連携枠)    | 在学生、卒業・修了生<br>(女性, LGBTQIA+に限る) |

※詳細はそれぞれの募集要項を必ず確認してください。

※申請資格を満たしていれば、領域・テーマごとに1人1件まで申請可能です。

**申請締切：2025年5月14日(水)17時**  
**本要項の助成額(予定)：300万円**



2025年3月18日 東京藝術大学 芸術未来研究場 **キュレーション領域**

※本助成は、みずほフィナンシャルグループ様からのご寄附により行われます。

## 1 趣旨・目的

東京藝術大学は、「世界を変える創造の源泉」として、芸術が持つ無限の可能性を社会に向けて伝え、実践によって示すため、2019 年度より企画公募事業『東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト』を展開しています(これまでに採択・実施された企画のアーカイブ等の特設 Web サイトに掲載しています: <https://iloveyou.geidai.ac.jp/>)。

また本学は、2023 年 4 月に「芸術未来研究場」を創設しました。本研究場は、多様性を認め合える社会の実現に向け、「アートは人が生きる力である」という確信及び「人の心」への眼差しを根幹として、新たな価値の創造や社会的課題の解決に係る実験と実践を重ねることを通じ、人類と地球のあるべき姿を探究することを目的としています。

この度、「I LOVE YOU」プロジェクト 2025 を、「芸術未来研究場が主催する共同研究企画公募事業」として実施し、本公募枠では、本学キュレーション教育研究センター (Center for Curatorial Studies Geidai (以下、CCS) (<https://ccs.geidai.ac.jp/>)) と、みずほフィナンシャルグループ (以下、みずほ FG) との共同教育研究の一環として、本学の卒業・修了生を対象に「こども」と「ジェンダー」をテーマにした企画を広く募集します。

本助成制度では、アーティストとして自立した活動を希望しながらも、経済的な理由で企画の実施に困難を強いられている卒業・修了生を支援します。ご自身の興味や関心を社会化し、さらなる自己成長の機会となるよう、CCS のスタッフとみずほ FG の社員が企画準備から実施までをサポートします。

## 2 募集する共同研究企画の実施期間

・2025 年 7 月 1 日～2026 年 2 月 28 日

## 3 申請資格・対象(以下①～③のすべての要件を満たすこと)

①2025 年 4 月 1 日時点における本学の卒業生・修了生が主催する企画。

※但し、40 歳以下の者に限る。また、本学を卒業・修了後、2025 年 4 月 1 日時点で本学の別の課程や研究生および教員(助手等)として在籍している者は除く。

②国籍不問。ただし、国内在住に限る。(国外で実施する企画は受け付けない)

③本助成制度の趣旨を理解し、以下を確実に遂行できる者。

- －企画実施に関連する事務局とのコミュニケーション
- －成果報告会への出席および活動内容や成果の報告
- －事務局から必要書類の提出を求められた場合に期日までに提出すること

## 4 助成金額、助成対象経費、助成金の使用方法

**助 成 金 額** 1 件につき 50 万円以内

**助 成 対 象 経 費** 消耗品費、印刷費、翻訳費、旅費、業務委託費、通信運搬費、広告宣伝費、使用料/借料(会場費や機材レンタル)、感染症対策費

※飲食費・交際費(手土産代など)はいかなる場合も対象となりません。

**助成金の使用方法** 採択後、相談会等を経て、事業の実施目途が立った時点から約 1 カ月後に助成金の全額を振込支給します(企画の終了後、領収書や支払明細等の証拠書類を含む報告書の提出をもって精算し、残金がある場合や、事業が実施されていない場合等は、助成金を返金していただきます)。

※採択通知前に発生している経費には助成金を充当できません。

## 5 募集する共同研究企画の要件および分野・形態

※「こども」もしくは「ジェンダー」に関する社会課題に取り組む企画であること。

例: 音楽家のジェンダーギャップについて語り合うシンポジウムとその関連コンサート、こども食堂や母子家庭支援施設などで行う子ども向け芸術系ワークショップ など

※社会への発信を伴う企画であれば、形態不問(展覧会、演奏会、上映会、研究報告会、講演会、ワークショップ、シンポジウム、Web サイトでの公開等)。

※要件に合致していれば、美術・音楽・映像等の分野は問いません。

※営利目的でない、入場料や参加料等の収入を伴う企画も可としますが、その場合、予算計画書に明記してください。

## 6 申請締切

・2025年5月14日(水) 17:00【時間厳守】

・申請書類データの提出先: [info-ccs\[at\]ml.geidai.ac.jp](mailto:info-ccs[at]ml.geidai.ac.jp) (各種問い合わせも受け付けます)

※申請は1人につき1件迄です(ひとつの企画について複数人が別々に申請するのも不可)。

※締切時刻までに必要書類一式が事務局で受信できている場合のみを審査対象とします。

## 7 申請に必要な書類

[1]企画書 兼 予算計画書(所定様式: Microsoft® Office Excel および PDF 化したデータ)

[2]コンセプトペーパー(A4 縦1枚、PDF データ。企画概要を分かりやすくまとめたもの。

作成方法は手書きを含め自由ですが、提出の際は PDF 化してください)

※[1]の EXCEL データおよび PDF データ、[2]の PDF データの3種類の提出が必要です。

※コンセプトペーパーには「企画のタイトル」を必ず記入してください。

※様式の変更やページ数の増減をしないでください。

## 8 審査・選考

・審査および選考は、以下①～③の観点により、CCS のスタッフとみずほ FG の社員が行います。

①本公募事業の趣旨・目的に合致しており、社会にインパクトを与えることが期待される。

②内容や着眼点に独創性があり、各芸術分野の特性を踏まえた高度な研究や実践が期待される。

③予算の積算が妥当であり、実施に必要な条件が準備できていると見込まれる。

・審査結果として、採択企画および助成額の一覧を大学 Web サイト等で公表します。

※書面審査の通過者に対し、二次審査(プレゼンテーション)を行う予定です(6/1～6/12 のいずれか1日)。

※最終的な審査結果は2025年6月下旬頃に公開・通知予定です。

※申請額よりも助成額を減額して採択する場合があります。

## 9 応募にあたっての注意事項

・企画における「社会への発信を伴う活動」を行う場所等については、申請者が各自で責任をもって確保してください(申請時には未定でも構いません)。

但し、2025年の11月下旬頃に、本学の大学美術館において、「芸術未来研究場」全体を社会に発信する展覧会を開催する予定であり、本公募に係る企画書様式の中に、この展覧会への出展(作品展示やパネル展示等による中間成果物の発表や企画概要の紹介)を希望するかどうかを選択する欄を設けていますので、参加を望む場合はその旨を記載してください(展示等の場所や機会の確保を約束するわけではありませんので、ご注意ください。なお、本展覧会に参加いただくこととなった場合、出展に係る経費は本助成金とは別途大学側で負担します)。

・企画の代表者等には、本プロジェクト主催のイベント等への参加を依頼する場合があります。

・企画書等の内容は本プロジェクトの広報活動に使用させていただく場合があります。

・採択者には研究費の管理等に関する誓約書を提出していただきます。

ー以上ー